

豊田北小学校いじめ対策アクションプラン

～いじめのない学校づくりを目指して～

◎は重点的に取り組む項目

いじめのない学校づくりのための総点検と校内体制の構築

- ◎いじめに対する指導方針を明らかにし、全職員が一枚岩になって指導・対応する。
- チームで対応できる校内体制作りを進める。
- 小中一貫教育を進める中で、発達段階に応じた指導の在り方を検討する。
- 「豊田北小いじめゼロ宣言」により、いじめを許さない学校づくりを実施する。
- スクールカウンセラーとの連携を図る。

いじめ問題に対する教職員の意識高揚と資質向上

- ◎いじめは「どこの学校・学級でも、どの子にも起こりうる」という危機意識を教職員で共有する。
- 教師の「ささいなことにも気づく」力量を高める。
- 教職員の不適切な言動が児童に大きな影響を与えることや「規律、学力、自己有用感」の重要性を全職員で確認する。

いじめを許さない、居がいのある学級・学校づくり

- ◎担任が「この学級ではいじめは許さない」という姿勢を絶えず示す。
- ◎居心地のよい学級、自己有用感を実感できる学級となる常時指導、常時活動を重視する。
- ◎要支援群の児童に目を向けた支援策を検討する。(Q-U検査)
- ◎「分かる授業」の展開と個に応じた指導を充実させる。

教育活動の充実によるいじめの未然防止

- ◎児童同士の関わりを大切にし、互いを認め助け合い、共に成長していく学級・学校作りに努める。
- ◎規律があり、落ち着いた学級・学校で、安心して生活できる集団作りをする。
- ◎いじめ問題に対する教職員の意識を高めるとともに、教師の資質向上に努める。
- ◎誰とでも心のこもったあいさつができるようにする。
- 教育活動全体を通して、道徳教育や人権教育の充実を図る。
- 児童主体によるいじめ防止活動を行う。(おやまっ子いじめゼロ宣言)を生かした集会を行う。)

いじめ問題の早期発見・早期対応

- ◎教育相談を定期的実施し、児童の小さなサインを見逃さない。
- ◎「Q-U検査」「心の中かのせりばこ」によりいじめを把握し、早期に対応する。
- 毎月の職員会議や朝の打合せ時に、児童指導に関する情報交換を行う。
- いじめの発見・通報を受けたら「児童サポート委員会」を中心に組織的に迅速に対応する。
- 正確な事実の把握に努め、指導方針や役割分担を決定し、問題解消に向けた指導・支援体制を組織する。
- 教職員の共通理解、保護者の協力、教育委員会等の関係機関との連携のもとで取り組む。

家庭や地域との連携

学校・家庭・地域が連携したいじめを許さない取組

- ◎いじめ防止への意識を啓発する情報やいじめ防止の取組状況の情報を発信する。
- 保護者、地域の方を対象にした授業参観を実施する。
- 児童を対象とした地域活動への参加を促し、地域の方とのふれあいを多くする。
- 学校運営協議会で本校のいじめ対策やいじめの状況について協議する。

関係諸機関との連携

教育委員会・関係諸機関との連携強化によるいじめ防止

- ◎関係機関との連携を図り、指導上必要な支援を積極的に受ける。
- 外部の教育相談機関にいつでも相談できることを児童・保護者に周知する。